

樹形図ワークショップ企画

「2022年度版日本語教育の樹形図」を使って 「日本語教育の参照枠」による教育現場への影響と変化を考える

調査研究推進委員会は「2022年度版日本語教育の樹形図」を作成しました。本ワークショップではこの樹形図をツールとして用い、現在注目されている「日本語教育の参照枠」によってもたらされる教育現場への影響や変化について考えます。実践現場や研究分野が近い参加者がグループとなり、参照枠について意見を交換します。その際、自身の現場、研究分野と他の現場、研究分野の活動や問題意識とのつながりや関連性を考えるためのツールとして樹形図を活用します。

樹形図を通して、参照枠について一緒に考えてみませんか。

対象：日本語教育を俯瞰的に見るためのものとして樹形図に興味がある方、参照枠との関連から自身の実践を振り返りたい方、自身の実践や問題意識を他の参加者と共有して考えを深めたい方

定員：先着30名（日本語教育学会会員のみ）

日時：2023年3月25日（土）13:00～15:00 JST

場所：オンライン（Zoom）開催 ※PCでのご参加をお願いします。

申し込み方法：以下のフォームからお申込みください。

<https://forms.gle/vkSSGI3ftKExrhAh9>



※以下のテーマについてグループに分かれて話し合います。お申込みの際、参加希望のグループを第2希望までご入力ください。

- A：高等教育機関等における日本語教育
- B：地域社会における日本語教育
- C：キャリア形成のための日本語教育

***参加費無料！ 要事前申込（2023年3月19日（日）締切）**

当日の予定

- | | |
|---|--|
| 1 | 本ワークショップの趣旨及び「2022年度版日本語教育の樹形図」の説明
宮崎七湖（新潟県立大学・調査研究推進委員会委員） |
| 2 | 「日本語教育の参照枠」の活用を考える～学習者と教師にもたらす変化とは～
佐藤智照（島根大学・調査研究推進委員会委員） |
| 3 | グループワーク：樹形図を見ながら「日本語教育の参照枠」が教育現場にもたらす影響や変化についての話し合い |

事前準備：

①「2022年度版日本語教育の樹形図」をダウンロードしてお手元にご準備ください。

https://www.nkg.or.jp/musubu/assets/2022_jukeizu.pdf

②動画「「日本語教育の参照枠」について（令和3年度文化庁日本語教育大会）」（13分13秒）のご視聴をお願いします。

https://www.youtube.com/watch?v=Ux1I22bDo_o&list=PL_ndIdJX38cB7wBbf_zL4IX8jHpTI5xm8&index=4

問合先：公益社団法人日本語教育学会事務局（調査研究推進委員会担当）

E-mail: chosakenkyu-office@nkg.or.jp